

この碑、なんの碑？

月刊島民

中之島

橋を渡る人の「街事情」マガジン

Vol.126 2019 1/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

「再建・尼崎城

—平成最後の
城プロジェクトを追え!—」

申し込み受付中!



えきていし 駅通司大阪郵便役所 (1970年・大阪市建立)

駅通司は明治維新と共に新設された役所で、通信・交通・運輸を管轄した。前島密によって近代的な国営郵便制度が整備されると、明治4年(1871)には東京・大阪・京都に郵便役所が置かれた。大阪は淀屋橋の北西詰にあり、現在は日銀大阪支店が建つ。この碑の隣にある郵便制度100年を記念した金色のポストと共に、その歴史を伝えてくれている。



3

帝国座跡 (2014年・大阪市建立)

オペケベ節の川上音二郎が、活動の拠点として明治43年(1910)に構えた大阪初の純洋式劇場。「オセロ」や「ベニスの商人」も上演されたという。しかし興行的には失敗で、川上は翌年舞台上で倒れて帰らぬ人。煉瓦造のお洒落な建物は昭和40年頃まで建っていたが、今はビルの公開空地の片隅にこの碑が遺るのみとなった。



5



2

大阪通商会社 為替会社跡 (1981年・大阪市建立)

維新直後、両社は共に明治政府の産業振興政策の中で創設された。通商会社は商社的な役割、為替会社は貸し付けや金券・銀券発行などの金融業務を行った。どちらも短命に終わったが、激動の時代にあって江戸時代の両替商から近代的な銀行への橋渡しの役割を果たした功績は大きいとされる。見落しそだが、実は近代大阪を陰で支える存在だった。

手形交換所発祥の地 (1980年・大阪市建立)

明治12年(1879)12月1日、この地に日本で初めての手形交換所が開設された。東京に先んじること8年、手形決済をスムーズに行えるようにする交換所の存在は、江戸時代の米市場以来、大阪の金融界には手形取引が浸透していたことがうかがえる。そこに現在は三井住友銀行の大阪本店が建っているのだから、面白いものだ。



1

近代製紙業発祥の地 (2005年度・大阪市教育委員会建立)

明治時代の産業に関わる石碑の多い中之島。リーガロイヤルホテルの裏手の方にはこんな碑も。明治8年(1875)、熊本藩蔵屋敷のあったここに製紙工場が建てられ、初めて洋紙がつくられた。何度か社名を変えながらも、第二次世界大戦頃までここに工場があったそう。意外に最近まであったのだと思えるのも、石碑があればこそ。



4

◎石碑の場所はP15のMAPに番号を掲載しています。

あのだんは気にも留めずに通り過ぎてしまふあの碑。それは歴史の入口。中之島であつたさまざまな出来事を伝えてくれる。

碑に交われば賢くなる!
中之島石碑アラカルト



12

木村長門守重成表忠碑 (1896年・西村捨三ら建立)

木村重成は豊臣方の武将。幼少の頃より豊臣秀頼に付き従い、初陣となった大坂冬の陣での功績で武名を上げた。翌年の夏の陣で命を散らすも見事な戦いが語り草とな

る。その後、末弟の鹿城によつて合水堂が開設され、最盛期には日本中から門人が集まり、緒方洪庵の「適塾」と覇を競ったという。



11

合水堂・華岡流外科顕彰碑 (2015年・日本医学史学会・華岡家春林会建立)

合水堂はかつて中之島にあり、2200人もの医師を育てた医塾。その創始は、「通仙散」という全身麻酔を用い、文化元年(1808)に世界初の乳がん摘出手術を成功させた華岡青洲にさかのぼる。その後、末弟の鹿城によつて合水堂が開設され、最盛期には日本中から門人が集まり、緒方洪庵の「適塾」と覇を競ったという。



10

中之島 ずばり「中之島」と書かれたこの石碑は、大坂の南西側の遊歩道にあり、まさに中之島の玄関口に位置する。中之島では1970年代から高潮対策と共に親水性のある美観を両立できる防潮堤の建設を進めてきた。碑文ではその完成を祝つて将来の発展を願うと共に、銅板には中之島の地図と防潮堤の断面図も描かれている。

中之島 (1986年・大阪府・大阪市建立)

みなみ

水上瀧太郎 文学碑

(1985年・大阪市建立)

水上瀧太郎の『大阪の宿』(講談社文芸文庫)は、水上が保険会社勤務時代に転勤してきた大阪での暮らしに材をとっている。作中の旅館「粋月」は、水上が住んだ下宿屋がモデルとされ、土佐堀川の南沿いにあった。碑には小説の一節が記されており、星空の下を川船が通り過ぎていく描写は、水上が実際に見た風景か。東京生まれの作家の文学碑が大阪にあるのは面白いが、それほど『大阪の宿』が名作ということかもしれない。



小説「泥の河」舞台の地

(2011年・江戸堀連合振興町会ほか建立)

中之島を舞台とする小説として真っ先に挙がる宮本輝『泥の河』。湊橋の南西のたもと、まさにここが小説の舞台であることを示す碑は、台座にどっかと腰を下ろし、玉砂利まで敷かれ、さすがに貴族がある。刻まれているのは、主人公の信雄が安治川に浮かぶ小さな舟に暮らす少年に出会うあの有名なシーン。それは、昭和30年代までこうした風景が大阪にあったことの証でもある。



梶井基次郎文学碑

(1981年・大阪市建立)

『檸檬』で知られる梶井基次郎の文学碑が靱公園にあることは、あまり知られていない。梶井は土佐堀通5丁目(現西区土佐堀3丁目)生まれ。東京帝国大学文学部英文科に学び、精力的に創作を重ねるも、病のために昭和2年(1927)に帰阪。その後も作品を発表し、注目を集めながらも31歳の若さで短い生涯を閉じた。石碑には「珠玉のよう」と評された梶井の詩的な洗練が垣間見える『檸檬』の一節が記されている。



文学作品の舞台としてもたびたび登場している中之島。
作品や作家に関係する文学碑は、なかなかバラエティ豊かだ。

文学碑評。



松瀬青々生誕地

(1978年・大阪市建立)

現在は三井住友銀行大阪本店ビルが建つ場所に生まれた俳人・松瀬青々。その碑はビル東側の駐車場の植え込みにひっそりたたずんでいる。高浜虚子に認められ、若くして俳句界のホープとなった松瀬だったが、東京の水になじめず8ヶ月足らずで大阪へ戻った。碑のすぐそばに架かる橋に落ちる夕陽を見ながら詠んだ一句「肥後橋に 筑前橋に 遅日かな」は、松瀬が大阪で雑誌を創刊した直後の決意の句だったと言われている。

福澤諭吉誕生地
(1954年・慶應義塾社中建立)
中津藩(大分県)の蔵屋敷で生まれた福澤諭吉。まるで羽が生えたような立派な石碑の理由は、裏に回ると答えがわかる。実はこれは鳩の形で、裏にはちゃんと顔もある。

時代の傑僧と称される。13歳で得度し、畿内各地で修行研究を重ね、京都で儒学も学んだ。定説に囚われず原典にさかのぼり研究解釈を加えた教典解釈の書『梵学津梁』は、1000巻に及ぶ大叢書。その他に『十善法語』など、卓越した成果を遺した。『生誕之地』と書かれた石碑の奥にある顕彰碑は、『十善法語』にちなみ10層に積んだ石柱に、印を結んだ手の形を組み合わせている。



慈雲尊者顕彰碑

(2012年・慈雲尊者顕彰会建立)

「福島あたり、尼崎へと向かい、左に行けば安治川方面に出るとのこと。古の旅人たちもこれを見て歩いたのだらう。」



道標の石碑

(1799年・建立者不明)

り、歌舞伎の演目になった。明治に入り、その芝居を観て感動したのが大阪府知事の西村捨三。寄付を募って、当時中之島にあった豊国神社の境内に石碑を建立したのであった。



16

適塾と懐徳堂 未来を拓く四つの彫像

(2015年・日本生命相互会社建立)

日本生命東館の北側沿いの道に並ぶ4人の像。その道は、今も史蹟として遺る適塾へと続いている。幕末から明治初期にかけて、適塾や懐徳堂(P6)があったこの場所は、日本有数の文教の中心地だった。銀色に輝く姿は、それぞれ「遠征」「研究」「思惟」「文武」を表し、当時の大阪の学生たちの志を表しているのだという。

川田順氏 歌碑

(1967年・

住友系18社建立)

住友に長く務め、歌人としても名を馳せた川田順は、中之島図書館開館50周年に際し、「難波津の まなかに植ゑし 智慧の木は 五十年を経て 大樹となりぬ」の歌を贈った。その歌碑は図書館の正面玄関脇にあり、飛び石の小径を進んだ先に、湧き水の中に浮かぶように現れる。実に粋なアプローチだ。



15



淀屋の碑／淀屋の屋敷跡

(1987年・大阪北浜船場ライオンスクラブ建立
／1961年・大阪市建立)

冬のある日、降り積もる落ち葉に囲まれる中に石碑がたたずむ様子は、なかなか絵になる風景だった。淀屋橋にその名を遺す豪商・淀屋の記憶を継ぐ有名な碑。知っている人も多いはずだが、たまにハッとするような景色になっていることがある。石碑はふと街の季節の移り変わりに気づかせてくれる存在でもある。



18

大阪府師範学校跡

(1985年・友松会建立)

大阪大倉商業学校跡地

(1984年・如蘭会建立)

堂島川南沿いの遊歩道に学校跡の碑が並ぶ。手前は大阪府師範学校で明治10年(1877)に久留米藩屋敷跡に新設。現在の大阪教育大学の前身となった。奥に見えているのは大阪大倉商業学校跡地の碑で、現在の関西大倉中学・高校の創立者・大倉喜八郎が私財を投じて開校。かつての中之島西部は多くの学校が立地する文教地区だった。

碑のあるロケーションにも注目してみよう。人々の目にとまるため、意外に美しい風景が広がっていることがある。

碑にあたるこの径。

みち



17

先代の金属製の碑が戦争で失われたため、今度は石碑にしてそこに平和の象徴をかたどったのだという。すぐ左脇には「天八人ノ上ニ」の名言も。また、右側にある中津藩蔵屋敷跡の碑には、この場所から江戸と郷里の中津までの海路・陸路の距離まで記されている。ここで生まれ、郷里の中津で育ち、青年期を再び大坂の適塾で学びながら過ごし、後に江戸へと向かった福澤、その生涯を象徴するかのような堂々たる石碑群である。

将菜島粗梁水制跡

(2000年・大阪市建立)

将菜島は、島というより淀川の水が覆屋川や鯉江川に逆流するのを防ぐため、網島から天満橋を越えて築かれた約430mの隔流堤。川の流れを堤によって隔てることで、水害を防ぐ役割があった。その将菜島の地先で、明治6年(1873)、オランダ人技師たちにより粗梁沈床という工事が行われた。木の枝を組み合わせて石を詰め、たも

ので、河岸から河の中央に向かって設置する

のは素晴らしい。

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい



23

双松岡
(1943年・大阪市建立)

塾は文久元年(1861)、江戸の昌平坂学問所の同門であった松林飯山・松本奎堂・岡鹿門によって開かれた漢学塾。名前を1字ずつとって塾名とした。しかし、尊王倒幕派の集合場所という嫌疑により大坂町奉行所に危険視され、半年で閉鎖されてしまった。石碑は時撤去されていたが、大阪中之島合同庁舎の敷地内に復元され、顕彰史蹟として説明パネルもある。わずかに半年のこととはいえ、歴史を大切にすることは素晴らしい。

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい

しょうじまをいせい



22

林市藏先生記念像

(1953年・大阪府民生委員建立)

大正7年(1918)に起きた米騒動。当時の府知事・林市藏は方面委員を設置するなど、社会福祉に注力。現在の民生委員の先駆けとなったこの制度、そのきっかけは、散髪中の林が鏡に映った新聞売りの母子の困窮した姿に心を痛めたからとされる。銅像はまさにそのシーン。昨年には民生委員制度100周年記念の石碑も加わった。



19

おや、ずいぶん
貧窮した母子だな…



堂島米市場の跡

(2018年・大阪取引所建立)

直径は1.5m、長さは最大3m、重さは約9.5t! その大きさに驚くが、正解はお米。建築家の安藤忠雄氏がデザインに協力した「一粒の光」と題された作品で、堂島米市場跡の新しい記念碑として昨年10月に建てられた。もともとこの場所には稲穂を持った少年少女の銅像などがあったが、そちらはすぐ西側へ引っ越した(右写真)。



20

かなり大きいけど、
ヒントはこの形です



天満の子守唄

(1983年・大阪天満ライオンズクラブ建立)

堂島川沿いの南天満公園にある、可愛い赤ちゃんをおんぶした若い母親と思われる銅像。そのかわらには、「天満の子守唄」の歌詞がある。「ねんねころいち 天満乃市よ 大根揃へて 舟に積む…」このすぐ北側にまさに石碑があるが、さすがは青物市場のあった天満らしい。流麗な字は大阪天満宮の宮司さんのものとする。



21

ねんねころいち
天満の市で



この碑、なんの碑？
さて問題。あなたはいくつ見覚えがあるだろう？
見たことはあるけど、由来は知らないというものも多いのでは。

一体、なんの碑？

中之島ラセントラルの北側に沿った植え込みに、こんな石碑のようなものがあつた。モニュメント、いやあるいは何かの建物の一部だったのか？ 一瞬、大阪市の市章「みおつくし」のようにも思えるが…。中之島を歩いていると、こういう由来の不明なものにも出会う。だからこそ街歩きは面白いのだ。



淀川三十石船舟唄碑

(1984年・日本民謡連合会建立)

ことで流れの勢いを弱め、護岸にも効果があつたという。南天満公園の中にさりげなくあるが、何度か水害に泣かされたこの地の苦難の歴史を伝える石碑なのだ。



24



25

南天満公園の中にある石碑。江戸時代に淀川を行き来した三十石船の解説と、船頭たちが口ずさんでいた舟唄の歌詞が書かれている。落語好きには三十石夢の通り路にも登場する。ことおなじみのこの舟唄は、大阪府の無形民俗文化財に指定されており、保存会のある高槻市では、毎年11月23日に全国大会が開かれている。

文化銘板「わが北新地」

(2003年・北新地まちづくり実行委員会建立)

新地本通の遊歩道に設置された10点のチタンパネル。近松門左衛門の人形浄瑠璃「曾根崎心中」のことや古い町並みがわかる写真など、北新地の歴史や文化について紹介されている。LEDライトも設置され、夜でも見やすいのはさすがに北新地といったところか。街の大事な歴史が、ネオンに負けず劣らず輝いている。



26

長州萩藩蔵屋敷跡

(1988年・建立者判読不可)

土佐堀通となにわ筋の交差点北東角の植え込みの中にあるこの碑は、形がユニーク。真ん中に由緒書きがあり、「長州に落ちのびる途中の三条実美ら尊王攘夷派の公卿七人も立ち寄った」と、さりげなくすごいことが書いてある。いわゆる「七卿落ち」で、長州藩など尊王攘夷派が都から追放された事件。大河ドラマの一場面が中之島にもあったとは。



28



27

船入橋

(1996年・大阪市建立)

船入橋とは、川から蔵屋敷の敷地内に船が直接入れるように設けられた入堀に架かる橋のこと。その長さはおよそ7mから15mで、積荷を満載した船が通れるように反りの大きな橋だった。一部の船入橋は明治維新後も残り、その蔵屋敷の藩名をとって呼ばれていた。そうしたうんちくを伝える碑があるこの場所には、かつて鍋島(佐賀)藩の船入橋があった。ちなみに、大阪大学中之島センターの前には久留米藩蔵屋敷の船入の遺構(左上写真)が少しだけ遺っている。

佐賀藩蔵屋敷跡

(1997年・大阪市建立)

船入橋の碑の北向かいあたり。大阪高裁の外周壁に埋め込まれるような格好で立っている。焼きものの一産地だった佐賀藩らしく、蔵屋敷跡の発掘調査(1990年)では唐津焼や伊万里焼など大量の陶磁器が発見された。また、初めて船入の遺構が出土したのもここで、中之島の蔵屋敷研究にとって大きな進歩となった。



30

江戸時代の中之島には蔵屋敷が建ち並んでいた。そのため蔵屋敷に関する歴史を伝える碑はやはり数多い。

碑に立ち止まれば蔵が建つ。



29

肥前佐賀県小城藩蔵屋敷跡

(1998年・関西佐賀県人会所属小城会ほか建立)

裁判所の西隣、堂島関電ビルの裏側(北東)には、佐賀藩の支藩であった小城藩の蔵屋敷跡の碑が遺されている。碑文を読むと、「幕末の騒乱の時は本藩と従い、維新の鴻業に参加した」。鴻業とは大きな事業のことであり、支藩ながらも勇敢にふるまった郷土の歴史に対するプライドが伝わってくるようだ。

伏見呉服町之碑
(1952年・伏見町五丁目有志建立)
高麗橋4丁目の角に立つ貴様満点の石碑。題名を見ると、右から左へ「伏見呉服町」と読める。天正12年(1584)・豊臣秀吉の命で京都・伏見の呉服商がこの地に

さまざまな市民向け講座を開催している。



32

懷徳堂旧趾碑

(1962年・日本生命保険相互会社建立)

懷徳堂は享保9年(1724)に創設された学問所。5人の豪商が私財を出し合って建てたもので、塾生は武士から庶民まで幅広く、席順も身分とは関係なし。商人のこと

も考え遅刻や早退も自由など、リベラルで風通しのいい学び舎だった。明治2年(1869)に廃止。その後、紆余曲折を経て資料の寄贈を受けた大阪大学はその学風や先見性を精神的な柱として受け継ぎ、さまざまな市民向け講座を開催している。



31

国産ビール発祥の地

(2002年・大阪市建立)

幕末に日本へやって来た外国人技師たちが飲んでいたビールを大阪でも造ろうと考えたのは、綿問屋で清酒の醸造も手がけた渋谷三郎。明治5年(1872)、堂島中町にビール醸造所を設立し、「渋谷ビール」を発売した。年間生産量は32〜45kLで、そのほとんどが川口居留地や中之島にあったレストランで外国人たちに飲まれたようだ。しかし日本人には大不評で、10年足らずで閉鎖した。ところで日本で初めてビールが製造されたのは横浜だ。ではこの碑の発祥とは? どうやら「日本人による商業生産」ということらしい。

「ラジオ塔」を知っていますか？

写真／幡公平



33

川べりのロケーションとはミスマッチなコンクリート製の頑丈な造り。

中之島公園の芝生広場の隅、堂島川を背に木陰にたたずむ石造物。石碑にしては妙に立派すぎるし、灯籠にしては唐突だが……。実はこれは「ラジオ塔」と呼ばれるもの。一体これは何のためのものなのだろうか？

このラジオ塔をこよなく愛し、写真集『ラジオ塔大百科2017』を出版したのが写真家の一幡公平さんだ。一幡さんによれば、ラジオ塔が最初に建



大阪城の南外堀沿いのラジオ塔。宝形造の屋根とV字の鉄格子がお洒落。

流れるようになるとラジオの存在感は否応なく増し、最盛期には465ヶ所以上に設置されたそうだ。
しかし、戦後になるとラジオ塔の稼働は激減し、多くは撤去された。それでも国内には40ヶ所近くにラジオ塔が残されており、一幡さんはその写真を撮るため、全国を駆け回った。
中之島公園のラジオ塔は高さ約4mとなかなか大きく、背面には旗竿が取

てられたのは昭和5年（1930）、大阪の天王寺公園でのこと。当時はまだ高価だったラジオを普及させるため、多くの人に聴いてもらえるようにと、公園などに設置され日本放送協会のラジオ番組が流されていた。戦前の国民にとってラジオは一、二を争う娯楽であり、ラジオ塔は瞬く間に全国に広がった。さらに戦況報道や空襲警報が



成田山大阪別院のラジオ塔の上には「金鶏」（トビ）と思われる彫像。

『ラジオ塔大百科2017』

（一幡公平・タカノメ特殊部隊・1,620円）

ラジオ番組で取り上げられ、放送関係者の間にわかに注目を集めているラジオ塔。ラジオ体操に活用されている「現役」のものもあり、今まさに復権しつつある。2014年に出版された本に新たな写真



を加え、計37ヶ所を掲載。通販で購入することができ、方法は一幡さんの運営する「タカノメ特殊部隊」のウェブサイト参照。その他の一幡さんの写真集にも秀作多し。
<http://takanome1.blog.fc2.com/blog-entry-28.html>

り付けられていた跡があり、国旗掲揚台としても使われていたようだ。大阪にはその他に、大阪城公園や香里園の成田山大阪別院などにもそれぞれ個性あふれるラジオ塔が残されている。一幡さん曰く「時代を映す貴重な文化遺産」が、中之島のこんな身近な場所にあったとは。



渡辺橋頭彰碑
(1993年・大阪市建立)

何度も架け替えられ、その都度、最新の仕様や装飾で架け直されている渡辺橋は、中之島さっての「愛され橋」。南東詰の顕彰碑には肥後橋とともにその歴史が記され、隣には昭和41年(1966)に架け替えられた際の親柱も残されている。今や京阪電車中之島線の駅名にもなっており、まったくもって大事にされている橋だ。



天神橋頭彰碑(1987年・大阪市建立)
天満橋頭彰碑(1987年・大阪市建立)

ともに「難波三大橋」である天神橋と天満橋にはどちらも似たような顕彰碑があり、かつて使われていた飾板が残されている。天神橋の碑は北西詰にあり、碑文を読んでも「天神橋長いなー落ちたら恐いなー」と童歌にも歌われた」など、顕彰碑らしからぬ小ネタがさりげなく書かれている。一方、天満橋の碑は橋の北東側すぐの公園の中に。橋名の飾板がドイツからの輸入品であったことが書かれている(天神橋も同様)。



難波橋頭彰碑
(1991年・大阪市建立)

現役の橋としては中之島で最も古い難波橋。東側の歩道中央にある顕彰碑の碑文がなかなか粋で、橋の歴史と共に、江戸時代の狂歌師・蔭山梅好錦絵が詠んだこんな歌も。「西ひがし みな見にきたれなには橋 すみずみかけて 四四の十六」。江戸時代には反り橋だった難波橋からの眺めの良さを歌ったものだが、もしかしてライオン像はこの「四四(獅子)」にかけたもの?

この橋
忘れるべからず。
島に渡るには橋が必要。橋と共に歩んできた中之島には、その歴史を讀めるべく、橋の記憶を宿したものが多く遺る。



む庶民を助けるべく、門人らを伴って大砲などの武器を持って出陣したが、事前に計画が露見し、半日で鎮圧されてしまう。その後、大塩は現在の靱本町1丁目にあった商人の屋敷に潜伏したが、通報により発見され、自決の最期を遂げている。



生誕の地や発祥の地の石碑は多いが、終焉の地というのは珍しい。大坂東町奉行の元与力であり陽明学者でもあった大塩が拳兵したのは天保8年(1837)のこと。飢饉で苦しむ

大塩平八郎終焉の地
(1997年・大塩事件研究会建立)

組み合わせた教育で多くの画家を輩出。大坂の近代洋画界の発展に貢献した。その後中之島に移り、昭和19年(1944)に戦争激化に伴い閉鎖された。



信濃橋洋画研究所
(1989年・大阪市建立)

たという。水害でたびたび流されたその橋の架け替えや修繕費用にと、遺産で遺産を寄付したのが呉服商の黒屋作兵衛という人物。その功績を讃えるのがこの碑である。



移住したことによる地名で、かつてあった西横堀川にも「呉服橋」という橋があった

なぜ人は石碑を建てるのか。

文／高島幸次（大阪天満宮文化研究所 大阪大学招聘教授）

スタンリー・キューブリック監督の『2001年宇宙の旅』が封切られたのは、1968年だから、半世紀も昔の映画だ。しかし、あの冒頭シーンから受けた衝撃は未だに色褪せていない。

400万年前のアフリカ大陸に、漆黒の平たい直方体（モノリス）が出現し、付近にいたヒトザルの知性を発現させる。結果、ヒトザルは動物の骨を武器にすることを覚え、他の群れを打ち負かし、歓喜のあまり骨を天高く放り上げる。その骨が2001年の軍事衛星に変身したところから物語は始まる。映画史上に輝くオープニングだ。

〈モノリス＝monolith〉とは一枚岩のことだから、石碑をイメージしていると見ていい。石碑は、ある特定の時空を後世に伝える役割を持っている。個人や集団が挙げた業績をその時代に止めず、未来に伝えるために碑文が刻まれる。ある出来事やイノベーションがその空間で起こったことを広く後世に伝えるために、その地に石柱が建てられる。

このような石碑の存在は古今東西を問わないが、日本史専攻の立場から印象深い石碑を一つ挙げるなら、中国吉

林省に建つ「好太王碑（広開土王碑）」だろう。高句麗の好太王（在位391～412年）の顕彰碑で、日朝関係史の重要な史料になっている。

明治17年（1884）に日本陸軍の情報将校が持ち帰った拓本は、好太王の時代の朝鮮半島に日本の権益が広がっていたように読めた。ところが、1970年代になると、あの情報将校が国策に供するために碑文を改竄した後に拓本をとったのだという研究が発表され、論争が巻き起こった。それは〈モノリス〉以上の衝撃だった。

結局は改竄されていなかったことで決着したのだが、大山鳴動して鼠一匹とはならず、論争の結果、かえって石碑の信頼性、史料としての重要性が再認識されることになった。

さて、映画の〈モノリス〉は、宇宙のかなたの知的生命体が地球にセッティングしたものらしいが、私たちの周りにも、先人たちが数多くの石碑を残してくれている。

それらの石碑の前に立って、少しでも知的好奇心が揺さぶられたなら、あのヒトザルたちに一歩でも近づけたのかも知れない。

石碑ではない石碑。

さて、中之島の周辺には、「石碑ではない石碑」もある。橋の親柱には橋名が刻されているため、廃橋後も親柱だけが遺され、石碑に生まれ変わっている例が少なくないのだ。

現在の梅檀木橋（1985年架橋）は中央公会堂の南で土佐堀川をまたぐが、その南詰には大正3年（1914）架橋時の親柱が遺され、隣には同橋の顕彰碑が建つ。この親柱は間違いなく石碑に生まれ変わっている。

太平橋の親柱は堂島川に面した遊歩道に。老舗乾物商「北村商店」の西側にある。



堂島川から北に延びた天満堀川（1968年埋立て）に架かっていた太平橋は、現地に親柱が4本とも遺され、それより北方の樽屋橋も親柱2本が遺り建ち、架橋の地を今に伝える。堂島川から梅田貨物駅に向けて掘られた梅田入堀も今はないが、その新出入橋の親柱は国道2号線の歩道にめり込むように建っている。これらは梅檀木橋のような顕彰碑を伴わないが、期せずして同地に架橋されていたことを伝える石碑の役目を担っている。多くの堀川が埋め立てられてしまった大阪には、このような石碑ではない石碑があちこちに遺されている。



樽屋橋の親柱は阪神高速守口線の高架下、小さなお稲荷さんを守るように立つ。

樽屋橋の親柱は阪神高速守口線の高架下、小さなお稲荷さんを守るように立つ。これは梅檀木橋のような顕彰碑を伴わないが、期せずして同地に架橋されていたことを伝える石碑の役目を担っている。多くの堀川が埋め立てられてしまった大阪には、このような石碑ではない石碑があちこちに遺されている。



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懷徳堂
プロジェクト

◎今月の授業

【城復活】

2019年2月講座

「再建・尼崎城」

—平成最後の城プロジェクトを追え!—

トーク／星川昌則(尼崎市城内まちづくり推進課)

河野未央(尼崎市立地域研究史料館)

網本武雄(プラモ尼崎城プロジェクト)

大阪のお隣で動く、城の再建プロジェクト。
そのプロセスや盛り上げりを、
地元の人たちが熱烈プレゼンテーション!



かつてあった城郭を復活させるプロジェクトは、国内の至るところで行われてきたが、実は大阪のすぐお隣、尼崎市でも江戸時代にあった尼崎城の再建プロジェクトが進んでいる。しかも、この3月にいよいよ完成。地元では新しい名物スポットの誕生に沸いている。その声をお届けしながら、尼崎城の歴史や現代に城郭を甦らせる

プロセスとはどのようなものかを追ってみよう。

街に城を建てたいという声は各地にあるが、そうやすやすと実現できるものではない。資金や土地の確保など計画がスタートするまでの苦労もあれば、どのような城にするのか、そして建てたあとの活用法も検討しなければいけない。今まさに完成しようとしている、平成最後の城プロジェクト。その現場をレポートする。



再建される尼崎城は高さ24m、4層の天守と2層の櫓がある。阪神尼崎駅から徒歩5分ほど、かつて城が建っていた場所から少し離れた位置にある。3月29日の一般オープンに向けて周辺を整備中。



プラモ尼崎城も建つ!?

尼崎城の再建に合わせて、プラモデルの尼崎城を販売するプランも進行中。なんでもプラモデルを製造するには莫大な費用がかかるそうで、現在、クラウドファンディングが進行中。こちらの様子もご紹介しよう。

「再建・尼崎城 —平成最後の城プロジェクトを追え!—

日時／2019年2月18日(月)

7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)

会場／大阪府立中之島図書館 本館3階 多目的スペース2

受講料／1,500円

定員／80名

主催／ナカノシマ大学事務局

お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号
「ナカノシマ大学2月講座」受付係 FAX.06-6484-9678

※先着順で受付後、1月20日前後より受講票をお送りします。

※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。

※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。

ナカノシマ大学の最新情報は

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや
スマホからは
こちら!→



お問い合わせ
☎06-6484-9677
(ナカノシマ大学事務局)

天満天神繁昌亭
毎月25日のお楽しみ

天神寄席 嘸のおとこ

一月席のご案内

申込受付中

●お題「天下人」

「信長・秀吉・家康」

2019年の最初を彩る天神寄席は、天下統一を果たし、時代を圧巻した織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三英傑が主役！よくホトトギスの歌になぞらえて性格を語られる3人だが、落語や講談ではどのような人物として描かれているのだろうか。鼎談のゲストには歴史小説の旗手として人気急上昇中の木下昌樹さんが登場。歴史上の人物を小説にする際の執筆秘話が明らかになるかも！

落語／笑福亭風喬「荒大名の茶の湯」

笑福亭仁嬌「大名将棋」

森乃福郎「太閤の白猿」

旭堂南海「家康の最期」

桂米左「本能寺」

鼎談／時代小説と落語

ゲスト／木下昌輝（小説家）

高島幸次（大阪大学招聘教授）

桂春團治

ゲストは木下昌輝さん。落語に描かれる歴史上の人物たちは時代小説家にはどのように映るのだろうか。

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中！

開催日／2019年1月25日（金）

開演時間／6:30PM（開場6:00PM）／受付開始5:45PM（受講料／2300円（通常・前売2500円）／当日3000円）

お支払い方法／当日（5:45PM）、繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。

※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。

●お申し込み方法、お問い合わせ先はP10を参照してください。



大坂の陣で討ち取られたのは実は家康だった？講談師の旭堂南海さんによる「家康の最期」。



トリの桂米左さんは「本能寺」。日本史上最も有名といっても過言ではない謀反劇は、どんな落語に？

イラスト／フジワラトモコ

十二月席のご案内

御来場御礼

鼎談／女と男の焼餅放談

谷口真由美（大阪国際大学准教授）

高島幸次 桂春團治

高 今日ゲストはテレビ番組のコメンテーターとしても活躍されている谷口真由美さんです。勝手に「嫉妬・憎気・焼き餅」というテーマで落語を選んだのですが…。

谷 「嫉妬」っていう漢字が気になるんです。男の人でも嫉妬する人たくさんいるのに、なんで女偏やねんって。

春 確かにそうですね。女性を上から目線で見た言葉なんや。

高 漢字は生まれた当時の差別を含んでいる場合が多いですからね。

谷 感情を表す言葉、「好」や「嫌」も女偏です。春團治師匠はよく女の人

に「好き」って言いますよね。ほな、男偏でもよろしいやん。

春 なるほど。しかし、ほんまに言いたいことははっきりおっしゃいますね。谷 よくメラメラと燃えています（笑）

高 炎上しちゃうんですね。ところで、谷口さんは大学の講義では落語のようにマクラ（本題に入る前の小話）を意識しているそうですね。

谷 授業の最初に学生の恋愛相談をぶった切るといふのを恒例にしています。それが人気で1限でも全員が出席するんですが、いざ教科書を開くと寝てしまふんですね。

高 マクラでみんな笑っているのに、本題に入ったら寝てしまふ…。そういう落語家さんなんていますよね。

春 確かにそういうことは多々…いやいや、私に言わんといて！



オブジェクト

企画展

ポートレイト

by
Eric

Zetterquist ト

エリック・ゼッタークイスト
《異物断片集文八角米注》
2018年

エリック・ゼッタークイスト

Object **Portraits**

The Museum of
Oriental Ceramics,
Osaka



2018.
12.8 (土) – 2019.
2.11 (月・祝)

二 東洋陶磁美術館
大阪市立



体の芯まで冷える夜こそ、このお鍋。
地鶏ときのこ、豆腐、豚肉、たっぷり野菜で
「里山チカラ」が体の内側からあつためます。
突き出しの自家製こんにゃくと、
締め黒豆細うどんがなんともヘルシー。
1月7日(月)からお待ちしています。



電話06-6341-2636
6:00PM~3:00AM(土曜は~1:00AM) 日・祝休
大阪市北区曽根崎新地1-7-6
新日本北新地ビル東館2F
※新地本通を御堂筋から50mほど入った
北側のビル(永楽町通からも入れます)

旬のNews

- 里山鍋3,000円。丹波地鶏の水炊き4,000円、すき焼き5,000円も大人気。篠山ボタン鍋(6,000円)は1週間前までにご予約を。※すべて税込

ご予約またはご来店の際は、「島民見たよ」とぜひお声がけを。

バッキー井上×仲野徹 異色の「酒場本」対談

紀伊國屋書店梅田本店が地元本とコラボする「梅田コネクション」第2弾の対談が決定。かたや京都・錦市場の漬物店店主で「日本初の酒場ライター」のバッキー井上さん。40年以上通ってきた店を紹介する著書「いっとかなあかん店京都」(140B)に登場するフリーズが酒飲みの間で評判になり、今や全国区の人気者だ。大絶賛している。

対するは大阪大学大学院医学系研究所教授の仲野徹さん。近著『あまり病気をしない暮らし』(晶文社)が発売前から重版とノリにノッている。その仲野先生が書評サイト「HONZ」でバッキーさんの著書を大絶賛している。



2019年1月1日発行

話題の書き手同士の対談は、爆笑必至、終了後は酒を飲みたくなると必至だ。会場では両者の著書のほかお二人が選んだ「酒(酒場)」と「京都」にちなんだ本も販売する。

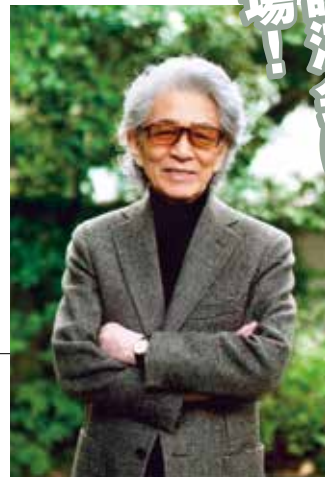
大阪倶楽部の公開講演会に 五木寛之さんが登場!

梅田コネクションVol.2
「酒場のスパイは病気になる!?!」
日時/1月26日(土)
5:30PM~7:15PM頃
会場/OIT梅田タワー セミナー室203
入場/1,000円
◎詳細・申し込みは
紀伊國屋書店梅田本店のHPから
<https://www.kinokuniya.co.jp/c/store/Umeda-Main-Store/>

大阪倶楽部の講演会に、数々のベストセラーを持つ作家の五木寛之さんが登場する。大阪倶楽部は大正元年(1912)に創立された大阪で最も古い会員制社交倶楽部。昭和27年(1952)から毎

週水曜日に、会員のみを対象とした講演会を実施しているが、2012年の創立100周年を機に、会員以外でも参加できる公開講演会をスタート。今までに、iPS細胞の研究でノーベル賞を受賞した山中伸弥さんなど、そうそうたる講師陣を迎えてきた。8回目を迎える今回は、直木賞作家の五木寛之氏が登壇する。テーマは「いまを生きる力」。現代という苦難の時代をあなたはどうか生きるのか、生き方についてのメッセージが語られる。

大阪倶楽部 公開講演会 五木寛之「いまを生きる力」
日時/3月20日(水)0:45PM~1:45PM
募集/100名(無料・抽選)
応募方法/往復ハガキに郵便番号・住所・代表者氏名・電話番号・参加人数(最大2名)を記入し、下記の宛先まで郵送。〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-11 大阪倶楽部[3/20公開講演会]事務局(島)係
締め切り/2月10日(日)消印有効 ※抽選の結果、当選者には2月下旬にハガキを発送(当選者はハガキ当日持参)問い合わせ/☎06-6231-8361





「必要な時に必要な車を」 社用車コストを抑制できます」

オフィス街の中之島のと真ん中、フェスティバルタワーに店舗があるため、ビル内や近隣のオフィスの法人会員の

方々を中心にお使いいただいています。

中之島エリアは駐車料金が高く、社用車の維持費が高くなる傾向があります。そのため、「必要な時に必要な車を」という考え方で、社用車をレンタカー・カーシェアに切り替えられる企業が増えていきます。「カーシェア」は料金設定15分からと短時間の利用ができるため、長時間・長期の利用はレンタカー、短時間の利用はカーシェアと効率よく使い分けることができます。レンタカーは常時100台程度あり、駐車場もビル内にあるので、最短で予約完了時間の30分後にご出発いただけます。

最近では、隣の福島区や西区にお住いの



若い方が、休日にお出かけの際にレンタカーを利用いただくことも多くなりました。



「レンタカー&カーシェア」を効率よく利用ください！ [タイムズカー レンタル] 店長 片桐彩乃さん

にドライブができて楽しかったです」というお言葉を頂戴し、こちらも嬉しい気持ちになりました。最近は燃費のいいハイブリッドの車種が増え、ドライブレコーダー、自動ブレーキやバックモニターなどの装備を搭載した安全な車種も多く

ご用意していますので、安心してご乗車いただけますよ。

また、コンラッドホテル大阪に宿泊されている海外のお客様のご利用もごさいいます。特に台湾や香港からのお客様が多く、

何度も日本にいられているリピーターの方は道もよくご存じで、京都や神戸にも車でお出かけされるようです。関西国際空港にも店舗があり、

乗り捨ても可能ですので、お帰りの際に荷物が多い場合など、とても便利だと喜んでいただいています。

た。セダンからスポーツタイプまで、さまざまな車種を取り揃えていますので、用途によって使い分けていただいています。先日、「今日は母と久しぶりに京都

様へ、お帰りの際に荷物が多い場合など、とても便利だと喜んでいただいています。

祝 祭 へ よ う こ そ 。



<http://festivalplaza.jp/>
提供／株式会社 朝日ビルディング

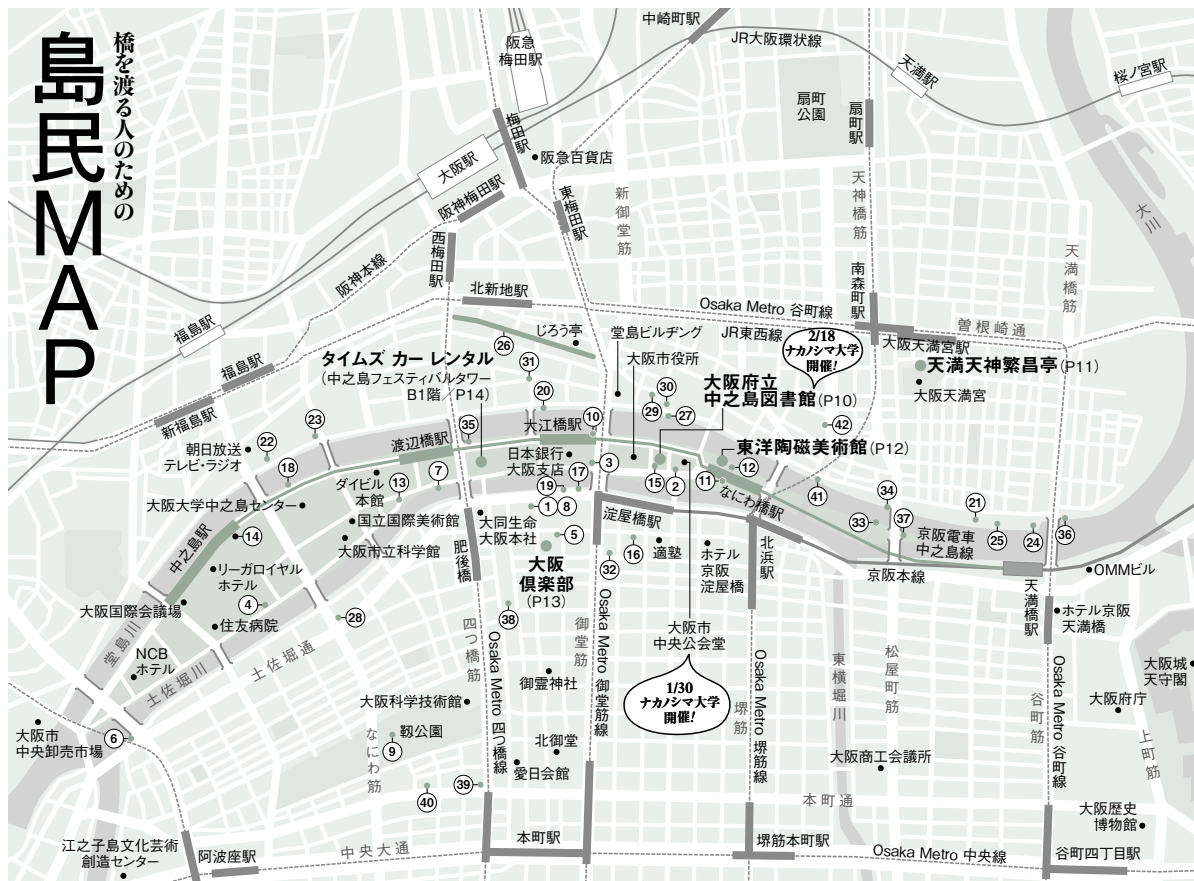


Information from タイムズカー レンタル 中之島フェスティバルタワー店
[中之島フェスティバルタワーB1階]

国内メーカーの車を中心にセダン、ワゴン、スポーツタイプなど、さまざまな車種が揃う。初めての利用の場合は用途に応じて最適な車を提案してくれる。法人会員の場合、1枚のカードで駐車場やカーシェアリングの併用が可能。また、別の店舗で車を返却できたり(店舗指定)、空港で乗り捨てができるなどのお得なサービスも満載。中之島店限定のキャンペーンもあり。

☎06-6223-5656 8:00AM~8:00PM





『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪グループ 京阪電車主要駅/京阪特急プレミアムカー/ホテル京阪 淀屋橋/ホテル京阪 天満橋/ホテル京阪 京橋/パナソニック京阪天満橋/京阪シティモール/京阪モール
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店 梅田地下街店/大阪高裁内ブックセンター/紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店 大阪本店・MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文芸堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 【公共施設・大学関連施設など】アイスポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/朝日放送テレビラジオ/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪府役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITYNAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まいる情報センター/少彦神社/中央電気倶楽部/適塾/ドーナツ/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス 【店舗・医院など】アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前鯉料理 志津町/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋服店/OOO(オー-)/カセット/喫茶センター/喫茶SAWA/グランスイート中之島/黒門さかえ/コンカフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シアトルベストコーヒー新聞電ビル店/じろう亭/Girond's JR/心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/パストラーレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/フレイムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 【書店】旭屋書店 なんばCITY店/紀伊國屋書店 京橋店/喜久屋書店 阿倍野店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳々堂/ルーブル書店 【公共施設・大学関連施設など】大阪科学技術館/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立中央図書館/大阪府立江之子島文化芸術創造センター/川口基督教教会 【店舗・医院など】あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパル/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/カルチャーカフェ上/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワン/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂/Books 呼文堂/水嶋書房 ぐずはモール店/大阪狹山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画部広報・社学連携事務局/大阪大学 21世紀懐徳堂/大阪大学本部/大阪府立中央図書館/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆとりんこ/連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンパソン/百練/奈良県立図書館情報館/龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSルーエ(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(原宿中庭)/ONLY FREE PAPER(東小金井)/かもめブックス(新宿)

◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見たい方はこちらから。<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/>

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 クリエイティブ・アイランド

アートエリアB1が進める「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」。
中之島を創造的な研究所と見立てるといそのプロジェクトの全貌とは？

●『月刊島民』vol.127は2019年2月1日発行です！

編集・発行人/大迫 力(株式会社140B)

編集・発行/月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 道田恵理子 山國恭子(株式会社140B)

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号

TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678

制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社

何度でも見とれてしまふ、
京都です。



建仁寺（京阪電車 祇園四条駅下車）
「京旅館 おけい庵」 三条けい子

京阪の人、
おけいはん。

京阪で、おこしやす。

<https://www.okeihan.net>